

# とちぶん会報

No.73

2023年10月10日

栃木県文芸家協会 発行人 福田 三男  
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町 16-18 三上方

## 夏季講演会及び暑気払い・懇親会を開催しました

8月20日(日)に栃木県青年会館(コンセーレ)において、当協会主催の夏季講演会が開催されました。講師には、大田原市黒羽芭蕉の館学芸員の新井 敦史先生をお招きしました。

演題は「松尾芭蕉の生涯ー誕生から「軽み」の俳諧までー」で、会員及び会員の知り合いの方、合計25名の出席者数となりました。

内容は、俳聖と呼ばれる松尾芭蕉の生涯を伊賀国(三重県)での生誕から追ったものです。軽みの境地にまで俳諧を高めた軌跡が細かく分かりやすく説明され、熱心に出席者は耳を傾けていました。約90分の講演は実りあるものとなりました。

講演会に引き続き、4年ぶりの暑気払い・懇親会が催されました。講師の新井先生を含めて16名の参加がありました。懇親の場は久しぶりということで大変盛り上がり、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

## 10月23日～24日に秋の懇親旅行(南平台温泉ホテル)

秋の懇親旅行を以下のとおり実施します。会員の皆さん、奮ってご参加ください。

### ○ 10月23日(月)

- ・ 11:00 宇都宮駅西口前トナリエ宇都宮に集合(自家用車の方は那須小川ゴルフクラブへ 12:15 に直接集合)
- ・ 12:00 昼食(那須小川ゴルフクラブ)
- ・ 13:15 笠石神社(那須国造碑)・侍塚古墳などの近隣史跡巡り
- ・ 15:30 南平台温泉ホテル到着・ホテルチェックイン
- ・ 16:00～18:00 入浴&ホテル内の富張木版画館観賞(入浴は4階展望風呂・はなれの湯[観音湯]、ホテル内風呂は朝までご入浴可能)
- ・ 18:00～20:00 夕食
- ・ 20:00～21:30 カラオケタイム

### ○ 10月24日(火)

- ・ 7:00～8:30 朝食バイキング
- ・ 9:00 記念撮影・チェックアウト・お土産購入、その後観光に出発(黒羽芭蕉の館と周辺句碑めぐり [9:30～11:00]、黒羽城址公園～大雄寺[11:00～12:00・堂内拝観料@500])
- ・ 12:00 昼食(那須小川ゴルフクラブ)
- ・ 13:00 観光(那須風土記の丘・那珂川)
- ・ 14:00 南平台温泉ホテルにて解散

○ 費用 12,000円(税込み)

○ 定員 10名(先着順)

○ 申込み方法 事務局宛て電話(090-9318-2492)してください。

※ 各所見学に入館料等が必要な場合は参加者負担。

※ 2回分の昼食(那須小川ゴルフクラブ)、カラオケタイム(南平台温泉ホテル)は高杉副会長のご厚意により無料となる。

☆ 南平台温泉ホテル／栃木県那須郡那珂川町小口 1342 電話 0287-92-3211

☆ 那須小川ゴルフクラブ／栃木県那須郡那珂川町三輪 1283 電話 0287-96-2121

## 第2回編集会議を開催・『朝明』第12号は編集へ

朝明第12号の原稿提出は9月末日に締め切り、総数76編(前号は80編)の作品が集まりました。各部門の提出数は以下のとおりです。( )内の数字は前号のもの。

- ・創作(小説) 14編(11)      ・評論 3編(2)      ・随筆 8編(14)      ・詩 10編(10)
- ・短歌 9編(11)      ・俳句 3編(3)      ・川柳 6編(6)
- ・特集「再スタート」23編(23、テーマは「安らぎ—小さな集まり—」)

この他に、小林守城前会長及び野澤俊雄元会長への追悼文が、岩本久美子会員及び戸井みちお会員からそれぞれ寄せられ、特別寄稿として掲載されます。

10月5日(木)に第2回編集会議が宇都宮市中央生涯学習センターで開催され、各部門の編集委員7名による原稿確認・編集作業が行われました。表紙デザインについては、さきや みつえ氏の人形写真に決定しました。

次の第3回編集会議は、「おかりや」にて11月9日(木)午後3時からを予定しています。

## 会員から多額の寄付金をいただきました

会員からいただいた今年度の寄付金は、9月30日現在で、41件82,000円が指定口座に入金されました。寄付金は、今後協会の安定的な財政運営のために使われることとなります。

誠にありがとうございました。

### § 寄贈書籍の紹介 §

- 「川柳の神様Ⅲ—秀句の誕生と鑑賞—」三上博史著／発行所・新葉館出版／発行日・2023年5月27日[著者からの寄贈]
  - ・著者が20数年にわたって、川柳句集やアンソロジー、川柳大会誌等からピックアップした秀句を解釈・鑑賞してきたもので120句が載せられている。現代川柳とはこういうものだという紹介にもなっている。本書のシリーズはⅢの刊行で完結した。今回も電子書籍化された。127ページ
- 「逸見猶吉 谷中から満州への軌跡」森 羅一著／発行所・有限会社随想舎／発行日・2023年7月17日[著者からの寄贈]
  - ・第一部資料編、第二部研究編から構成されている。総合文芸誌「朝明」(栃木県文芸家協会発行)、五行歌詩「彩」及び個人誌「表象七九五四」に寄稿した中から抜粋したものである。167ページ
- 「同人誌「r e r a」(第三号)／発行所・生きがい創造舎 事務局／編集・生きがい創造舎／発行日・2023年6月6日
  - ・11名の作家による短編小説が収められている。当協会からは、柴崎幸子、福富陽子、大泉耀子(古谷耀子)、石塚蓉子、島田トミ子、寺崎暁生、国母仁、鈴木めぐり、相馬龍久、の9名の会員が作品を寄せている。155ページ
- 「母と娘の物語 母五十歳当時の手記を娘が読み、今を語る」小林史 小林千枝子著／発行所・株式会社文芸社／発行日・2019年12月15日[著者からの寄贈]
  - ・戦前の農村生活や嫁としての暮らし、子育てを綴った母の手記を娘が読み、今を語る物語。第Ⅰ部 母の手記(小林史)、第Ⅱ部 娘が語る子ども時代とその後(小林千枝子)、第Ⅲ部 家族形成と介護の記録(小林千枝子)から構成される。161ページ

### \* ∞ \* 事務局通信 \* ∞ \*

朝明第12号の作品原稿が集まりました。前号より4編少なくなり合計76編となりました。高齢化により会員数が減少した影響によるものでしょうか。淋しいことですが、仕方ありません。創作の作品数が増え、特集の作品数も前号と同数だったことは喜ばしいことです。

今号に秋の懇親旅行の案内が具体的に載っています。南平台温泉ホテル及び那須小川ゴルフクラブを運営する高杉副会長のご厚意により、格安の宿泊料金とおもてなしが提供されます。この機会を逃さず、ぜひ参加して会員相互の懇親を深めましょう。コロナ禍がようやく収まって語り合いたいこともたくさんあるでしょう。満足がいくまで楽しんでください。(三上)